

<報道発表資料>

カテゴリー：お知らせ

令和4年4月28日

**埼玉県の賃金・労働時間及び雇用の動き
(毎月勤労統計調査結果令和4年2月分・令和3年年末賞与)**

2月の現金給与総額は、243,247円（前年同月比1.3%減）となり、4か月ぶりマイナスとなった。総実労働時間は、125.4時間（前年同月比1.7%減）となり、4か月ぶりマイナスとなった。常用労働者数は、2,186,596人（前年同月比0.4%減）となり、7か月連続マイナスとなった。

また、令和3年年末賞与の1人平均支給額は、令和2年年末賞与に比べ、9.3%増の336,224円となった。

1 賃金

現金給与総額は、243,247円（前年同月比1.3%減）となり、4か月ぶりマイナスとなりました。物価変動の影響を除いた実質賃金は、前年同月比2.4%減となりました。

現金給与総額の前年同月比を主な産業についてみると、製造業1.3%減、卸売業・小売業7.1%減、医療・福祉5.6%増となりました。

なお、就業形態別の現金給与総額は、一般労働者は340,003円、パートタイム労働者は96,452円でした。

	金額	前年同月比	
現金給与総額	243,247円	-1.3%	4か月ぶりマイナス
定期給与	240,771円	-0.8%	4か月ぶりマイナス
所定内給与	224,271円	-1.5%	2か月連続マイナス
所定外給与	16,500円	8.8%	11か月連続プラス※2

※1 2月の消費者物価指数（さいたま市 持家の帰属家賃を除く総合）は、100.5で前年同月比1.2%

※2 所定外給与の前年同月比は実数から算出している

2 労働時間

総実労働時間は、125.4時間（前年同月比1.7%減）となり、4か月ぶりマイナスとなりました。

前年同月比を主な産業についてみると、製造業1.3%増、卸売業・小売業7.6%減、医療・福祉0.3%増となりました。

なお、就業形態別の総実労働時間は、一般労働者は158.1時間、パートタイム労働者は75.7時間でした。

	時間	前年同月比	
総実労働時間	125.4時間	-1.7%	4か月ぶりマイナス
所定外労働時間	9.6時間	3.4%	12か月連続プラス

3 雇 用

常用労働者数は、2,186,596 人（前年同月比 0.4%減）となり、7か月連続マイナスとなりました。

主な産業について前年同月比をみると、製造業 2.9%減、卸売業・小売業 1.0%減、医療・福祉 2.2%増となりました。

なお、一般労働者は 1,317,254 人、パートタイム労働者は 869,342 人で、パートタイム労働者の比率は 39.8%（前年同月差 0.9 ポイント増）でした。

	人数	前年同月比	
常用労働者数	2,186,596 人	-0.4%	7か月連続マイナス

※ 毎月勤労統計調査（令和 4 年 2 月分）の埼玉県の調査結果（確報値）です。

※ 調査結果の数値は特に記載がある場合を除き、事業所規模 5 人以上、調査産業計の数値です。

※ 指数は基準時（令和 2 年平均）を 100 とした数値です。

※ 前年比は指数等により算出した前年からの増減率のため、実数から算出した増減率とは一致しない場合があります。

※ 今回の調査対象事業所数は 1,381 事業所、回答事業所数は 953 事業所、回収率は 69.0%です。

特別掲載 年末賞与

令和 3 年 11 月から令和 4 年 1 月の 3 か月間に支給された年末賞与（事業所規模 30 人以上）は、賞与を支給した事業所の 1 人平均支給額が 336,224 円（前年比 9.3%増）となりました。所定内給与に対する割合は 1.13 か月分で、前年を 0.14 か月分上回りました。

なお、全事業所における賞与を支給した事業所の割合は 92.6%となり、前年を 1.6 ポイント上回りました。

主な産業の平均支給額の前年比は、製造業 13.1%増、卸売業・小売業 6.6%増、医療・福祉 13.2%増となりました。

	埼玉県	
	金額	実数の前年比
支給労働者1人平均支給額	336,224円	9.3%

※ 「支給労働者 1 人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者（当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む）についての 1 人平均賞与支給額です。

この統計に関するホームページアドレス

『彩の国統計情報館』毎月勤労統計調査（月報、年報）のページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a031/index.html>